

看護エコーのいま、これから

— 「看護エコー」を身近にするために考えなければならないこと—

昨年11月に開催した第7回日本NP学会学術集会の共催シンポジウム“看護エコーの可能性を診療看護師(NP)と考える”におきましては、皆さまから高い評価をいただきました。

シンポジウム後から約1年。登壇いただいた先生方に情報をアップデートいただくとともに、エコーは良いと思っても前に進められない弊害は何か、どのようにしたらご施設に先端デバイス機器を根付かせていけるのかを話し合える場として、Web座談会第一弾：第7回日本NP学会学術集会シンポジウムの“その後”を開催します。

皆さまの解決の糸口となりますよう努めてまいります。ご参加賜りますよう、ご案内申し上げます。



2022

9/25 [日]

13:00-14:30(90分)

申し込み

<https://bit.ly/3sFAMEN> から直接お申込みください。

事前に第7回日本NP学会学術集会で開催した共催シンポジウムをご視聴いただいた後、ご参加いただけます。

申し込み締切 / 9月25日(日) 13:00

参加無料 / 定員:1,000名



座長

本田和也 先生

独立行政法人 国立病院機構 長崎医療センター
教育センター・脳神経外科 副看護師長 / 診療看護師 (NP)

プログラム

13:00~13:05 ごあいさつ

13:05~13:15 演題1 eNS(エコーガイド下静脈路確保認証看護師)教育システムの現状について

三重野雅裕 先生

医療法人 横浜未来ヘルスケアシステム戸塚共立第1病院
消化器センター診療看護師長・看護師特定行為研修責任者

遠藤瑞穂 先生

医療法人 横浜未来ヘルスケアシステム戸塚共立第1病院
看護部ICU副主任・看護師特定行為研修指導者

13:15~13:25 演題2 訪問看護での「看護エコー」のその後

保坂明美 先生

株式会社トランスユイット
訪問看護ステーションフランス所長

13:25~13:35 演題3 看護におけるエコーを用いたフィジカルアセスメント教育と

臨床現場での実装 — 教育の立場から —

玉井奈緒 先生

横浜市立大学 医学部 看護学科
成人看護学領域 教授

13:35~14:20 ディスカッション

- ①みんながエコーは良いと思っても前に進められないのは何が弊害なのか?
- ②先端デバイス機器をどう施設に根付かせるか?

14:20~14:25 総括

14:25~14:30 富士フイルムメディカルからのご案内